



ポートランド日本人学校だより

2018. 1. 20

第17-35号

# わかば

ホームページ <http://www.shokookai.org/gakkou.htm> 毎週火曜日更新

## 入園・入学希望者説明会開催!

先週の土曜日、1月13日、2018年度に向けて、幼稚部入園・小学部1年入学希望者説明会を開催致しました。説明会では、教育委員長の 大竹浩人様より、本校の運営方針や目的について説明していただくとともに、学校や面接に関わっての説明をさせて頂きました。



本校の目的は、「帰国後日本の教育に円滑に適応することが出来るような学力をつける」ことにありますので、日本語を学ぶというより、日本語で学ぶ学校です。授業に必要な日本語力はご家庭で習得して頂かななくてはなりません。また、小学部では週1回の授業を補うため、宿題（プリント、学習帳、音読、日記、等）が出されますが、これもご家庭で指導して頂くこととなります。

日本人学校は、商工会に設置された教育委員会により運営されておりますが、教育委員の皆様には、全員がボランティアとして、年間を通して本校に貢献していただいております。同様に、保護者の皆様全員にも学校行事などの企画、運営を担当して頂いております。本校の運営には、保護者の皆様のご支援とご協力が欠かせません。

小学部入学テストは2月7日（水）に、幼稚部入園面接は2月16日（金）に、どちらも商工会事務所でわれます。

## 高等部進学審査について



本校の中学部を卒業し、高等部への進学を希望する生徒を対象に、高等部進学審査（小論文・面接）を下記の通り実施致します。日本ではこの時期中学3年生は高校入試の真っ最中ですので、本校でも高等部への進学を希望している生徒を対象に進学審査を実施しています。高等部への進学を希望している生徒の皆さんは、時間厳守で集合するようお願いします。なお、高等部への進学が認められた生徒には、後日、高等部進学許可通知書が郵送されます。

**【小論文】** 日時 : 1月27日（土）、15:20~16:20


場所 : E-8教室

**【面接】** 日時 : 2月3日または10日（土）、15:20~17:00

場所 : 小会議室

注意 : 面接の期日、順番については、学級担任より連絡。  
試験の終了時刻に合わせて、迎えの時刻を変更してください

# 児童生徒作品より




お	と	は	い	す	ク
も	ゆ	い	本	い	ゆ
い	き	い	と	う	き
ま	は	ま	う	と	が
し	き	し	だ	ふ	た
も	れ	た	ね	お	か
				あ	い
				さ	る
				さ	ん
				よ	か
				が	は

えにつぎ  
なまえ ちがひ  
12月 20日 水曜日  
なつみ



た	た	ん	し	ん	き	の	の	の	の
た	ま	ま	ま	ま	ま	ま	ま	ま	ま
の	ま	ま	ま	ま	ま	ま	ま	ま	ま
く	ん	き	た	う	し	の	ち	よ	は
う	で	な	か	と	う	う	う	う	う
た	し	こ	が	と	う	う	う	う	う
た	え	ま	ま	ま	ま	ま	ま	ま	ま
し	て	う	あ	さ	き	い	た	い	い

なまえ 山田 詠  
うた



みんな生きてるから  
生きてるから  
歌う

は今年よりもつちうら  
じょうずにしたいです。

十一月十七日 土曜日  
ポートランド日本人学校で  
学ばい会がありました。二年生  
が「ぼん」に歌を歌いました。  
ぼんが歌った歌はドレミの  
歌とてのひらき太ようこです。  
はくばんさんしよに歌な時きん  
ちようしよにまなびならんが  
りほいたからです。でもたか  
んれんしよをしたのでしかり歌  
うごしやでままし。楽しかた  
てす。ちうらじよす。しよこ  
ろもありまし。す。しよこ  
す。しよこす。しよこす。しよこ  
す。しよこす。しよこす。しよこ  
す。しよこす。しよこす。しよこ

1年1組 千木良 夏実

1年3組 山田 詠

2年2組 佐伯 悠斗

俳句「冬」 雪がふる 冬にぴったり 雪遊び  
くまがねる くまの子どもと あたたかい  
雪がふる 雪をほったら 神の星

音訓かるた 楽しいね 音楽会で 歌うたう  
遊園地 みんなと遊べて 楽しいな  
学校で 楽しく学ぶ 一日だ

3年1組 後藤 恵梨  
3年1組 河合 彩花  
3年1組 古屋 尊  
3年1組 芦田 ゆり子  
3年1組 竹内 美海  
3年1組 鈴木 音瑛

## 「坊ちゃん」を読んで 小学部6年 前原 美優

「中学の教頭位な論法でおれの心がどう動くものか。人間は好き嫌いで働くものだ。論法で働くものじゃない。」

これは主人公の坊ちゃんが言った言葉です。私は、このセリフを言った坊ちゃんに共感します。それは、自分がやりたくない職業に就いたとしても全然楽しくないし、一度きりの人生、どうせなら心から自分が楽しいと思えるような職業に就きたいと思ったからです。

そして、坊ちゃんはすごいなとも思いました。それは、自分がおかしいと思った物事などがあると知らん振りせずに戦っているからです。私だったら、もしおかしいと思ってもきつと坊ちゃんみたいに知らん振りせずに戦うことなんて出来ません。私は弱いので、もし私が坊ちゃんの立場になったら赤シャツをやっつける勇気なんて出ないだろうし、そもそも赤シャツをやっつけようとも思わないでしょう。

私はこの本を読んで、夏目漱石さんはきっとどんなことでも勇気を出して戦うことが大切だということを伝えたかったんだと思いました。

そして、この物語の悪役、赤シャツは私達の心の中の醜さを表しているのではないかと思います。人間誰でも、人に嫉妬したり欲深くなったりすることはあると思います。でもそれに負けずに、いつでも本当にそれで良いのか自分の心に問いかけてみるのが大切なんだということ、坊ちゃんを読んで気付かされました。

